

令和元年度第4回島田市文化芸術推進協議会 議事概要

1 日時 令和2年2月12日(水) 午後4時15分～午後5時30分

2 場所 島田市役所 第3委員会室南

3 出席者

(1) 委員 松本委員、森澤委員、岡村委員、小栗委員、岸委員、高橋委員、松永委員、山本委員、片川委員、沼田委員

(2) 事務局 産業観光部文化資源活用課 太田課長、大谷係長

(3) 傍聴者 0名

4 概要

(1) 開会

(2) 議事

○報告事項

次の点について事務局から報告した。

- ・令和元年度文化芸術推進計画策定スケジュールについて
- ・シンポジウム及びパブリック・コメント等の結果について
- ・島田市文化芸術推進計画書素案の確認について

○協議事項

- ・島田市文化芸術推進計画書概要版素案の確認について

「○」委員からの質問・意見等 「→」事務局からの回答等

○：2年間の最後の協議会。振り返りつつ、発言していただきたい。

○：計画を作っただけ。これから、市の計画が始まっていくのか。

○：これに基づき、市が執行していく。施策の根拠となる。

○：これが基になって、企業や関連団体との関わり方が決まっていくのか。市民として、その実行力がどのくらいか知りたい。

→：計画の有無による実行力は言えない。この計画ができ、この計画通りに進めていることで、予算を要求できる。市の施策において議論の武器となるものができた。団体の活動について、こういう連携をやっている、紹介されている、と

いうことを市民の多くにご覧いただき、活動のヒントやエネルギーにしたい
ただきたい。

- ：本計画は議会にも説明している。法律に基づき作成し、非常に合法的なプロセスを踏んでいる。都市政策としてこの選択肢を選んだと、堂々と言える強みがある。それほど極端なことは書いていない。教育委員会からも、わかりやすいとコメントをいただいた。実現しやすいものを選んでいる。
- ：理論付けはすごくしやすい。
- ：誰もが考える方向に考えやすい。その方向に進んでいるか、毎年チェックはしなければいけない。
- ：わかりやすく、読みやすい概要版ができた。2ページの関連計画について、12月に新市役所の市民スペースをどうしたらいいかというワークショップに参加した。それも文化が組み合わさってよくなると感じた。観光戦略プランにも観光と文化芸術が組み合わさり盛り上がっている。8ページの歴史資源利活用事業がほかに比べて具体的ではない。11月9日のエクスカージョンを載せたほうがわかりやすい。
- ：この事業は大きな事業であり、内容を個別に出すと小さく見えてしまう。市民には他の事業のほうがわかりやすいのであれば、変更はできる。
- ：川越し街道の写真は、これより賑わっている写真がいい。
- ：今月23日にイベントを行う予定。写真を差し替えたいと思っている。
- ：学生を入れた写真がいいと思う。工業高校は、技術だけでなく映画や舞台などの芸術の力が弱い。ICTコンソーシアムが直轄している事業は学校をあげてやっている。芸術面の活動には、学校側が前向きでない。ぜひ学校に芸術が大事だと伝わるといい。学校全体が市のやることに前向きになるといい。
- ：これがどう具体的になりPDCAサイクルをどうするのか。どこに力を入れて今後やっていくのかがポイントになる。私が専門としているところを見ると、人が集う場の創出かと思う。現状のおおりを維持をしていく上で、市内唯一の劇場ホールとして、ある程度予算をつけて照明・音響の設備を直していかないといけない。現場の意見を聞いていただき、改善、改修されることをお願いしたい。
- ：計画に載せることで方向性が決まる。市民会館は、この計画期間中には新築の話は出てこない。おおりをどう使うかが、この計画のポイントになる。18ページに、おおりの機能維持の文言があり、その下の新たな取り組みとして明記している。この計画により、来年は、おおりのホール吊り天井改修と楽屋アメニティ改修等の予算がついている。いよいよ改修に入る。
- ：吊り天井改修についてはやらざるを得ない。見える部分の改修は市民が喜ぶ。本番中に照明が機能しないなどあってはいけない。機能部分は一般の人に見えづらい。

- : 会長から来年以降の進捗管理の話がでてきている。議会でも明言している。資料 3-4 市の取り組みは、それぞれの課がそれぞれの指標に向かって進めてきた。文化芸術を加味した上で進捗管理を来年以降行っていくことを事務局案として出している。
- : 11 月のシンポジウムで、大井川と決めたら徹底的に大井川でいく、違うものがあるなら違うという、という意見に共感した。計画案は、大井川に関係ないものも入っているが、概要版ではもっと大井川を出してもいいのではないかなと思う。例えば、悪口コンテストは大井川のコンセプトからは外れている。もう少し大井川に近いものを入れてはどうか。
- : 概要版 6・7 ページを大井川関連でまとめてもいいのではないかな。
- : 概要版では、章の順に、市の取り組みのほか、市民がやっている非常に成功しているものを取り上げている。市民活動の成功例の仕組みの紹介をした。
- : 表紙の絵は何の絵か。
- : 諏訪原城跡に昨年ビクターセンターができた。その中の展示台座にこのイラストが描いてある。本編に説明を記載しているが、市内高校出身のイラストレーター永井秀樹氏によるもの。計画内の人材活用に紐づいている。更に文化芸術には、アニメや漫画も含むということもこのイラストで示している。
- : 変えられないのか。
- : パブコメも終了しているため、相当の理由がないと変えられない。
- : レイアウトを変えたらいいのでは。カラー版なのにモノクロでは寂しく、暗い。手に取りたいと思ってもらえるか。字体も丸ゴシックでないほうがいい。
- : 概要版は広報紙と一緒に配布するのか。どのくらいの市民に渡するのか。
- : 今 2000 部作成を予定している。公共施設など市民の目に触れる場所に置く予定。概要版と本編は、ホームページにも掲載する。
- : なおのことパット目を引く見た目が大事。
- : シンポジウムのチラシは大井川入れカラーできれいだった。
- : イラストとしてはいい。計画との親和性がない。大井川のイメージ画を描いてもらうことはできないか。
- : 大井川にした場合、また賛否はわかれると思う。奇抜さは今回の方がある。
- : レイアウトを変えることはできないか。
- : イラストイメージが強すぎる。
- : 大井川は他の計画でも多く使用されている。今の魅せ方を少し工夫する。
- : 中條像のある位置から撮った、富士山と茶畑が写っている写真がある。参考になるなら渡す。「島田市緑茶化計画」の記載がないがいいか。取り組み事例について、ジャンボ干支だけではなく、すべらず地蔵もあるがどうか。
- : 表紙や裏表紙を変えられるなら、森澤委員の撮った写真を入れるなど検討してほしい。

→：工夫してみる。大井川や茶畑の写真が入るだけで、内容との整合性がとれる。

○：効率的な配布先を検討してほしい。

○：初倉のことが一つはほしい。地域が偏ってはいけない。

○：市民の皆さん隔々まで、計画を認識してもらうことが大切。PR方法を逐次検討する必要がある。社会教育だけでなく学校教育も巻き込んで、小・中学生にこの計画を深く理解してもらいながら、将来の人材を育てていくことを大事だと思う。

○：この協議会は今後も続く予定。今後ともご協力いただきたい。

(3) その他

- ・島田市文化芸術推進計画の進行管理について

(4) 閉会